

御意見及び市教育委員会の考え方について

1 第五次多賀城市子ども読書活動推進計画について

番号	意見	市の回答
1	<p>私は多賀城市で子供の読書活動を推進していくために、読書感想絵を市内小学校、保育園、幼稚園等で行うのが良いと考えました。</p> <p>読書感想絵とは、本を読んで感じた事を2、3文程度で軽く文章化し、絵で表現するというものです。これの良いところは、絵を写實的に描くのではなく、様々な色や形で抽象的に自分の感じたまま描けるという点です。読書感想絵の本質は絵の上手い下手ではありません。そのため子供の想像力や表現力、そして読者への興味に繋がります。読書や絵の好き嫌い、得意下手に関わらず誰でもできるということで読書感想絵をするのが良いと考えました。</p>	<p>読書感想絵（画）は子どもの読書活動と表現活動の力を養うことが出来る、良い取組のひとつであると考えております。そのため、計画案の中では「学校における読書活動の推進」における取組のひとつとして「読書感想画の募集」という形で挙げております。</p> <p>全国規模のコンクール等への参加勧奨だけではない、保育園や幼稚園などを含めた独自の取組に関する御提案につきましては、今後の事業の参考とさせていただきます。</p>
2	<p>（GIGAスクール構想により配布された学習用端末について）</p> <p>タブレットの使用はなるべく少なくしてほしい。家庭への持ち帰りは最低限で。もともとはよく本を読む子だったのが、タブレットを使用したいがために、どんどん本を読まなくなっています。</p>	<p>GIGAスクール構想による学習用端末（タブレット）の整備や国におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進など、デジタル社会の実現に向けた動きは今後更に進んでいくことが想定されます。</p> <p>そのような社会に対応した読書環境の整備について、自治体として何が出来るのか、いただいた御意見も参考としながら調査研究を進めてまいります。</p>
3	<p>令和4年、令和6年に出産し、ブックスタートを利用しました。しかし令和4年と令和6年で用意されていた本が全く一緒でした。せめて毎年違うラインナップにするとか、たまたま持っていなかった本なのでとても嬉しかったですが、全部持っていた場合とかは違う本がいただけたら良いなと思いました。</p> <p>子供時代に学校の図書館に行くけど、町の図書館に行くということがなかったのので、学校の課外授業などで多賀城図書館に行くというのはとてもいいことだと思いました。</p> <p>また、本の面白さを子供時代は理解できなかったのので、子供だけではなく、親や先生達も含めた読書活動があるとさらによいかなと思いました。</p>	<p>ブックスタートでの読み聞かせやプレゼントする絵本について、絵本の調達や在庫管理の都合上、毎年全てのラインナップを変更することは難しい状況ですが、現在もどの絵本が選ばれているかの様子や、図書館司書の意見等を参考に適宜ラインナップの見直しを図っております。</p> <p>市内小・中学校における図書館訪問については、小学校の図書館関係の学習支援や施設見学、中学校の職場体験など、学校と連携して学びの機会は今後も引き続き提供していきます。</p> <p>子ども以外にも保護者や教職員を含めた読書活動という御提案につきましては、今後の事業の参考とさせていただきます。</p>